

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025 年 5 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

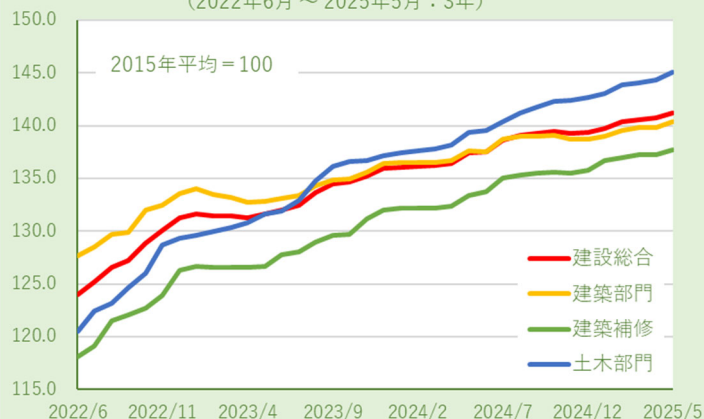
1. 指数の動向（全国平均）

2025 年 5 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が **141.2** となり、前月比+0.4%(+0.5 ポイント)と **6 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+2.8%(+3.8 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **140.4** となり、前月比+0.4%(+0.5 ポイント)と **6 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+2.0%(+2.7 ポイント)となった。**建築補修**は **137.7** となり、前月比+0.3%(+0.4 ポイント)と **6 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.3%(+4.3 ポイント)となった。**土木部門**は **145.1** となり、前月比+0.5%(+0.7 ポイント)と **2020 年 6 月以降 60 カ月連続の上昇**となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.1%(+5.7 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年6月～2025年5月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石製品】生コンクリート

製造コストや輸送コストの増加を要因としたメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

【金属製品】建設用金属製品

人件費・輸送費など製造コスト増加を背景としたメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【非鉄金属】電線・ケーブル

需要家の値下げ要求の強まりから製品価格が下落し、指数動向のマイナスに寄与

【石油製品・舗装材料】燃料油

原油調達コスト減少を背景に元売りが仕切価格を引き下げ、販売価格が下落し、指数動向にマイナス寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

上記のプラス寄与要因のほか、全国的に建築用金属製品の値上げが指数動向のプラスに寄与した一方で、一部の都市では H 形鋼や異形棒鋼などの鉄鋼製品の値下げがマイナスに寄与した。

都市別に見ると【東京】（前月比+1.3%）では、セメントや骨材などの原材料費の上昇、輸送コスト、プラント維持費や人件費などの増加を背景とした生コンクリートの大幅な値上げが指数動向のプラスに大きく寄与した。

建設業の働き方改革に伴う現場稼働日数の減少などにより、東京の生コンクリートの出荷量は減少傾向にあるものの、大規模な再開発事業や大型物件などが進行しており、堅調な需要が見込めることから、ゼネコンも値上げに理解を示した形となった。

各地の建設総合部門の指数【2025年5月分】

全国平均：141.2	新潟：137.8	札幌：141.5
前月比 +0.4%	前月比 +0.1%	前月比 +0.0%
前年同月比 +2.8%	前年同月比 +2.8%	前年同月比 +2.9%
広島：139.4	大阪：143.8	仙台：136.6
前月比 -0.2%	前月比 -0.2%	前月比 -0.0%
前年同月比 +2.9%	前年同月比 +2.0%	前年同月比 +3.0%
福岡：142.2		東京：141.8
前月比 -0.1%		前月比 +1.3%
前年同月比 +2.1%		前年同月比 +3.3%
那覇：139.4	高松：148.6	名古屋：141.5
前月比 -0.1%	前月比 -0.1%	前月比 -0.2%
前年同月比 +2.3%	前年同月比 +3.5%	前年同月比 +1.8%



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp